

プログラム (全体)

	1日目(6月25日(土))	2日目(6月26日(日))
	9:00 開会挨拶	
9:00	9:10-9:50 一般演題1A 1-2 座長:庄田秀志	9:00-10:00 一般演題2A 1-3 座長:兼本浩祐
10:00	9:55-10:55 一般演題1B 1-3 座長:斎藤慎之介	10:05-11:05 一般演題2B 1-3 座長:小林聡幸
11:00	11:00-11:40 一般演題1C 1-2 座長:山田和夫	11:10-12:10 一般演題2C 1-3 座長:花村誠一
12:00	11:50-12:50 ランチョンセミナー1 「睡眠・覚醒の謎に挑む」柳沢正史 司会:中谷陽二 (於:大学会館レストラン) (別部屋で理事会)	12:20-13:20 ランチョンセミナー2 「アディクションと芸術」森田展彰 司会:高橋正雄 (於:大学会館レストラン)
13:00	12:55-13:25 総会・学会賞授賞式	
14:00	13:30-14:30 特別講演 「私たちの方法」 坂口恭平・坂口涼子 司会:斎藤環	13:30-14:30 特別講演 「折口信夫、憑依から創造へ」 安藤礼二 司会:内海健
15:00	14:40-15:40 一般演題1D 1-3 座長:鈴木國文	14:40-15:40 一般演題2D 1-3 座長:十川幸司
16:00	15:45-16:45 一般演題1E 1-3 座長:番場寛	15:50-17:50 メインシンポジウム 「健康生成と病跡学」 加藤敏・小林聡幸 笹原信一郎・松崎一葉 司会:斎藤環・牛島定信
17:00	16:55-17:55 会長講演 「健康生成と対話(ダイアログ)」 斎藤環 司会:加藤敏	
18:00~	18:15-20:00 懇親会	17:50 閉会挨拶

1 日目 (6月25日(土))

9:00 開会挨拶

9:10~9:50 一般演題セッション1A

座長：庄田 秀志 (国立病院機構 小諸高原病院)

1A-1 R.デカルトと自然学

早野 泰造 (旭会・和歌浦病院精神科)

1A-2 「百丈野鴨子」と馬祖道一

河崎 博 (岐阜南病院)

9:55~10:55 一般演題セッション1B

座長：斎藤 慎之介 (自治医科大学精神医学教室)

1B-1 幻影現象から死者の鎮魂を考える

黒鳥 偉作¹⁾・加藤 敏²⁾ (¹⁾自治医科大学精神医学教室、²⁾小山富士見台病院)

1B-2 水木しげる論 不気味なものが陽気に帰ってくる

小林 陵 (横浜市立大学附属病院)

1B-3 絵本作家 佐野洋子の病跡

丸岡 優子 (東洋英和女学院大学大学院 人間科学研究科)

11:00~11:40 一般演題セッション1C

座長：山田 和夫 (東洋英和女学院大学人間科学部)

1C-1 大岡昇平「野火」における精神症候学の断層

細川 清 (原尾島クリニック・精神科)

1C-2 石井筆子 ー小さき者を照らした「力」ー

築田 美抄 (北海道大学 ハラスメント相談室)

11:50~12:50 ランチョンセミナー1 (於:大学会館レストラン)

「睡眠と覚醒の謎に挑む」

演者：柳沢 正史 (筑波大学医学医療系)

司会：中谷 陽二 (クボタクリニック)

11:50~12:50 理事会(理事のみ参加、第6会議室)

12:55~13:25 総会・学会賞授賞式

13:30~14:30 特別講演

「私たちの方法」

演者：坂口 恭平・坂口 涼子（アーティスト）

司会：斎藤 環（筑波大学医学医療系）

14:40~15:40 一般演題セッション1D

座長：鈴木 國文（生生会 松蔭病院）

1D-1 サルトジェネシスとしての弓道

—オイゲン・ヘリゲル、マインドフルネスの理論を援用して—

野寄 理（医療法人清澄会・不破ノ関病院）

1D-2 ハンセン病により隔離された児童の芸術的創造性

中山 浩（川崎こども家庭センター）

1D-3 フランソワーズ・ミンコフスカのゴッホ論—調和と蛇行

佐藤 愛（筑波大学人文社会科学部 現代語・現代文化専攻）

15:45~16:45 一般演題セッション1E

座長：番場 寛（大谷大学文学部）

1E-1 中島らもが志向したリアル

本田 和揮（国立病院機構 菊池病院）

1E-2 こだわりがもたらす飛鳥涼の光と影

倉田 勉（袖ヶ浦さつき台病院）

1E-3 王道少年漫画で伝えるレジリエンスの病跡学と医学教育

—ONE PIECE・NARUTO を中心として—

今村 弥生・田中 伸一郎（杏林大学医学部 精神神経科）

16:55~17:55 会長講演

「健康生成と対話（ダイアログ）」

演者：斎藤 環（筑波大学医学医療系）

司会：加藤 敏（小山富士見台病院）

18:15~20:00 懇親会（於：大学会館レストラン）

2 日目 (6月26日(日))

9:00~10:00 一般演題セッション 2A

座長：兼本 浩祐 (愛知医科大学精神科学講座)

2A-1 「ZUN」の世界創成と健康生成の関係

山上 尚彦¹⁾・斎藤 環²⁾

(¹⁾筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマンケア科学専攻、²⁾筑波大学医学医療系)

2A-2 増加する「発達障害キャラ」の社会文化的背景について

PANTO Francesco¹⁾・斎藤 環²⁾

(¹⁾筑波大学大学院人間総合科学研究科疾患制御医学専攻、²⁾筑波大学医学医療系)

2A-3 小早川秀秋の肝性脳症と関ヶ原の戦い

— 天下分け目の寝返りの精神病理学的背景 —

若林 利光 (若林医院)

10:05~11:05 一般演題セッション 2B

座長：小林 聡幸 (自治医科大学精神医学教室)

2B-1 からだでしかないじぶん：伊藤計劃の生と死

風野 春樹 (精神医学研究所附属 東京武蔵野病院)

2B-2 臨床心理学者、霜山徳爾の死生観

本林 良章 (鳥取大学大学院 医学系研究科 臨床心理学専攻)

2B-3 Homo curans としての Spinoza：精神療法の水準点

佐藤 晋爾 (埼玉県立大学 保健医療福祉学部)

11:10~12:10 一般演題セッション 2C

座長：花村 誠一 (東京福祉大学福祉学部)

2C-1 James Joyce における解体と構築—「流寓」について

南浦 誠・松本 卓也 (京都大学大学院 人間環境学研究科 共生人間学専攻)

2C-2 クロソウスキーのニーチェ解釈の特異性について

—「永劫回帰」体験における「忘却」=自我同一性の壊乱と精神病的プロセスの複数化—

山崎 雅広・松本 卓也 (京都大学大学院 人間・環境学研究科)

2C-3 芸術家の精神機能分析—創造的退行の臨床心理学的研究

清原 舞子 (東洋英和女学院大学大学院 人間科学研究科)

12:20~13:20 ランチョンセミナー2 (於:大学会館レストラン)

「アディクションと芸術」

演者：森田 展彰（筑波大学医学医療系）

司会：高橋 正雄（筑波大学障害科学系）

13:30~14:30 特別講演

「折口信夫、憑依から創造へ」

演者：安藤 礼二（文芸評論家、多摩美術大学美術学部准教授）

司会：内海 健（東京芸術大学保健管理センター）

14:40~15:40 一般演題セッション 2D

座長：十川 幸司（十川精神分析オフィス）

2D-1 「健康としての狂気」とは何か

—ジル・ドゥルーズと3人の自閉症スペクトラム症者

松本 卓也（京都大学人間・環境学研究科）

2D-2 江戸のマゾッホ

志紀島 啓

2D-3 オスカー・パニツァにおける時代の病理を個人の病理

—「コルセットのフリッツ」に焦点を当てて—

森島 章仁（穂高の森メンタルクリニック）

15:50~17:50 メインシンポジウム

「健康生成と病跡学」

司会：斎藤 環（筑波大学医学医療系）

牛島 定信（三田精神療法研究所）

ワイトゲンシュタインにおける宗教・倫理

加藤 敏（小山富士見台病院）

スターリニズムを生き延びる—シヨスタコーヴィチの生存戦略と健康生成

小林 聡幸（自治医科大学精神医学教室）

健康生成論の成立とその分析

笹原 信一郎（筑波大学医学医療系）

疾病論から健康生成論へ—想定外に強いストレス耐性とは？

松崎 一葉（筑波大学医学医療系）

17:50 閉会挨拶